

# 前立腺全摘術を受ける患者様へ(入院時にこの用紙をご持参下さい)

日付	入院当日		手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	
	月	日	月 日		月 日	月 日	
治療・処置	 持参された薬の確認をします   毎日回診があります   夕食後に下剤の内服があります		<b>手術のときに準備していただくもの</b>   ①前開きの寝巻き2~ ②T字帯2~3枚   ③バスタオル2~3枚  <b>④『集中治療室へ入室される方へ』というしおり</b>  *『集中治療室へ入室される方へ』というしおりをお持ちの方は一読しておいてください	手術は  時頃を予定しています   手術着に着替え、義歯等はずしてください。  弾性ストッキングを履きます 手術部位の毛を剃ります	 点滴が3本と抗生剤を1本行います   血栓予防のためマッサージの機械を足につけます  手術後から酸素をしています。決められた時間まで酸素をします 尿の管と創部の管と背中に痛みどめの管が入ってきます。(痛みどめの管は入ってこない場合もあります)	 点滴が4本と抗生剤を2本行います  朝、マッサージの機械を外します   	 点滴が3本と抗生剤を2本行います  点滴の追加がなければ点滴用の針を抜きます
	検査	 採血検査を行います   身長体重測定を行いません		 手術室でエックス線撮影があります   手術後、手術室で採血検査を行います	お部屋でエックス線撮影があります   朝、採血検査を行います		
活動	 病院内は自由に歩けます		なるべくベッド上で安静にしましょう	許可があるまでベッド上安静です、 寝返りはできません  	 回診後から座ることができます	歩くことができます。最初は看護師が付き添います	
食事	 食事は夕食まで食べられます		(医師より開腹手術と説明があった方は腹帯を2~3枚。腹腔鏡、ロボット手術と説明があった方は腹帯は不要です。)  <b>※集中治療室入室用の物品をまとめます。</b>	 食事は止まります 水分は指示された時間まで飲むことができます	 回診後から飲水できるようになります	回診後食事が始まります 内容は医師の指示によって変わります	
清潔	 シャワー浴ができます		 洗面、歯磨きをお手伝いします	 希望時蒸しタオルで拭くことができます			
排泄	 排泄表へ尿回数の記載をしてください。		手術に行く前に排尿を済ませておきましょう	 尿の管が入っています。排便時は、看護師をお呼びください	排便時は看護師を呼んでください	 尿の管は入ったままですが、排便時は歩いてトイレに行けます	
説明・指導	医師より手術の説明を行いません。御家族も同席してください  麻酔科医、手術室看護師から説明があります。   病棟看護師から入院生活の説明があります  手首にリストバンドを装着します  術後の早期離床について説明します		 貴重品は家族に預けてください   普段服用している薬も中止となりますが、医師の指示によっては飲んで頂く場合があります。その際は看護師が説明します。  手術中は家族は病棟ロビーか病室でお待ち下さい	背中に痛みどめの管が入ってくる場合があります。(入ってこない場合もあります)吐気や痛みがある時は看護師に教えてください  尿の管による痛みが生じることがあります。不快感がある時は看護師にお知らせください 手術後、ご家族に手術の経過についての説明があります    日中、集中治療室から一般病棟へ戻ります  手術後は集中治療室に入室します。	 点滴、尿の管、創部の管、背中の痛み止めの管が入っているため、歩行時には注意してください  尿の管の閉塞、感染を予防するため、水分を多く摂ってください  		

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がありましたらお尋ねください。

作成日: 2013/0211

改訂日: 2020/8/27

横浜南共済病院

日付	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10～11日目
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
治療・処置	 排液量が減ったら創部の管を抜きます  背中痛み止めの管を抜きます(3～4日目で)							
検査		 朝、採血検査を行います		 尿道造影で尿の管が抜けるかの検査をします  尿道造影で問題がなければ、尿の管が抜けます				
活動	 病院内は自由に歩けます							
食事	 病院食を食べてください							
清潔	希望時蒸しタオルで拭くことができます	 痛み止め、創部の管が抜け許可があれば傷を保護してシャワー浴ができます				 傷を保護せずにシャワー浴ができます		
排泄	 自由にトイレに行けます			 尿の管が抜けた後は自由にトイレに行けます				
説明・指導		 明日、検査室で尿道造影の検査があります。尿漏れの可能性があります。パッドを用意して下さい	 尿漏れの量を測ります。自尿と尿漏れの量を紙に記入します 医師より病理結果の説明があります。ご家族も同席してください(病理結果が出てからになるので、具体的な日程は医師や看護師へ聞いてください)  尿の管を抜いた後、頻尿、尿漏れ等を起こすことがあります。次第に回復していきます	 骨盤底筋運動をするようにしましょう	 退院後の注意事項、次回外来受診日について説明します	 お会計はスタッフがお部屋まで説明に行きま す 退院は10時頃を予定しております		

注) 病名・診療内容および入院期間については現時点で考えられるものであり、状況に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

作成日: 2013/02/11

改訂日: 2020/8/27

横浜南共済病院